

| |
|---------|
| 関 連 事 項 |
|---------|

1 計時方法について

- (1) 計時開始 フロア内の指定位置にスタンバイ（静止状態）させ、アナウンス終了後の演奏もしくは演技開始の時点から計時を開始する。
(注) アナウンスは入場と同時に行う。スタンバイ完了後、すぐに演奏演技を開始する。
- (2) 計時終了 指揮者または D.M. が、演奏もしくは演技の終了したことを意思表示した時点で計時を終了する。
(注) 終了の方法は「参加申込書」、「スタンバイ時・終了時配置図」に記入する。
- (3) 備 考 ① 入場からスタンバイするまでの時間は、計時の対象としない。
ただし、入れ替え時間は 1 分間とする。開始時はスタート地点に速やかにスタンバイすること。
② 演奏・演技開始における、指揮者または D.M. の合図（発声、ホイッスル、動作）は、計時の対象としない。
③ スタンバイ（静止状態）完了後の団員の動作、音出し、発声は計時の対象とする。
④ 指揮者または D.M. が終了の意思表示をした後は、最後のフォーメーションから再度隊列を整えることなく、全員速やかに退場すること。再度、フロア中央に戻っての礼は禁止する。

2 演奏・演技フロアについて

演技上の目印として、フロアに次のラインおよびポイントをつけます。

- (1) 30m×30m と、20m×20m の正方形のライン
(2) フロアの中心を交差する縦横の十字ライン
(3) 5m ごとのポイント
(4) ピット楽器や打楽器などを置く部分、椅子を置く部分にはシートを敷きますので、ポイントが見えなくなります。
(注) 30m×30m のラインを越えて演技しても失格にはなりません。

3 その他

- (1) シューズは、ゴム底のものに限る。
(2) フラッグのポール両端には、ゴム球を付けること。